

平成28年6月24日（金）13時30分～

交通政策審議会海事分科会第78回船員部会

【成瀬専門官】 それでは定刻より少し早いのですが、皆さんおそろいですので、ただいまから交通政策審議会海事分科会第78回船員部会を開催させていただきます。事務局を務めさせていただきます海事局船員政策課の成瀬でございます。よろしくお願いいたします。

本日は委員及び臨時委員総員18名中14名のご出席となりますので、交通政策審議会令第8条第1項及び船員部会運営規則第10条の規定による定足数を満たしておりますことをご報告申し上げます。

最初に事務局を務めさせていただいております海事局に6月21日付で人事異動がありましたので紹介させていただきます。大臣官房審議官の内田の後任として七尾大臣官房審議官が着任いたしております。

【七尾審議官】 ただいま紹介いただきました七尾と申します。よろしくお願いいたします。直近は東北運輸局というところで次長をやっております、主として海事関係を広く見ておりました。もちろん観光とか自動車、鉄道をも見ておりましたけれども、海事関係の2部を中心にしておりました。かつて海上交通局時代に国内旅客課というところの、今、内航課という形で旅客、貨物が一緒になっておりますけれども、総括担当補佐をしていたことがございます。それからしばらくの後に海事局になりましてから、造船課の国際業務室長というのをしていたこともございます。海上保安庁は3回ぐらい勤務したことありまして、広い意味では海事、海上保安も含めてかかわることが今まで多くございました。新しいところでは海事局を中心に港湾局や危機管理等々を担当するということになりました。何とぞよろしくお願いいたします。

【成瀬専門官】 海技・振興課企画調整官の石田の後任として長瀬企画調整官が着任しております。

【長瀬企画調整官】 海技・振興課に石田の後任で参りました長瀬と申します。直近は衆議院法制局のほうに出向しております、このたび海事局のほうに戻ってまいりました。その前に、総務課のほうで法規を担当しております、また海事の仕事をさせていただくということで大変光栄に思っております。

この海技・振興課は私がいたころは資格制度を担当している課というふうに認識しておりましたけれども、新しく振興の業務と一緒に加わっているということですので、今後船員さんになりたい方を広く集めていくということにも取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。

【成瀬専門官】 次に、配付資料の確認をさせていただきます。お手元の資料をごらんください。資料は、上から議事次第、配布資料一覧、その次からが議題の資料となります。資料の番号は資料の右上に記載してございます。

資料1として交通政策審議会への諮問について、諮問第249号「船員派遣事業の許可について」というものが2枚になります。その参考資料として資料の1-2が2枚、こちらは委員限りの資料となります。

また、議題とは別に「海フェスタ東三河」というものが1枚、さらに先ほど机上配付資料としてリーフレットを置かせさせていただいております。

資料は以上でございますが、行き届いておりますでしょうか。

以上で資料の確認を終わらせていただきます。

それでは、議事に入りたいと思います。野川部会長、司会進行をお願いいたします。

【野川部会長】 それでは、早速議事を進めてまいります。

本日の議題は船員派遣事業の許可についてでございますが、本件につきましては、個別事業者の許可に関する事項であり、公開することにより当事者等の利益を害するおそれがありますので、船員部会運営規則第11条ただし書きの規定により審議を非公開とさせていただきます。マスコミ関係の方をはじめ関係者以外の方はご退席をお願いいたします。

(関係者以外退席)

【野川部会長】 よろしいようでしたら、本日意見を求められました諮問につきましては、別紙に掲げるものに対する船員派遣事業について許可することが適当であるという結論とすることとし、海事分科会長に報告したいと存じますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【野川部会長】 ありがとうございます。本日はこれで議事は終了でございますが、何かございますでしょうか。はい、どうぞ。

【加納海事振興企画室長】 海事振興企画室の加納と申します。本日はご参考資料とい

たしまして、「海フェスタ東三河」のご紹介をさせていただきます。海フェスタにつきましては、海の恩恵に感謝して海洋国家日本の繁栄を願う日という、海の日本来の意義を再確認し、広く国民の皆様へ海への関心を喚起していただくという目的で昭和61年から毎年実施しております。本年につきましては、愛知県の豊橋市を中心としました7市2町1村を含む広域連合であります東三河地域で7月16日から7月31日まで開催させていただきます予定でございます。具体的な内容につきましては、お手元のほうに海フェスタ東三河のリーフレットをお配りさせていただきましたので、ご参考にさせていただきたいと思っております。以上よろしくお願いたします。

【野川部会長】 ありがとうございます。これにつきまして何かご意見等ございましたらお願いたします。

よろしいでしょうか。それでは、ほかにはいかがでしょうか。お願いたします。

【村松船員教育室長】 海事振興課船員教育室の村松でございます。前回、船員部会において船員教育機関卒業生の求人就職状況についてご説明させていただきました。その際、立川委員から、船員教育機関卒業生の求人数について、重複はあるのか。あるとするなら実質の求人数はわからないのか。業界として何人船員を必要としているのか。そのため何人の船員を育成しないといけないのかを分析できる資料でないといけない。船員の確保育成のために役立つ資料としていただきたいとのご指摘をいただきました。

それに対しまして資料に記載の求人数は各学校の延べ数のため重複があり、各学校担当者を確認した結果では、学校単体では実質の求人数を推計することは困難との回答でございました。したがって今後は当方から各学校宛て詳細資料の提供を求めまして、実質の求人数の推計その他は参考となるデータ、例えば航海系、機関係の別等でございますが、それらを示すことが可能か検討することといたします。また全体の供給数の把握として、水産系大学あるいは水産系高校等からの就職者数を示すこともあわせて検討をしたいと思っております。ご指摘に対する対応ということで報告させていただきました。以上でございます。

【野川部会長】 ありがとうございます。いかがでしょうか。立川委員。

【立川臨時委員】 今、ご報告をいただきましたので、その方向で今後資料を出していただいて、この船員部会の中で、いろんな面で検討していくことが重要だと思っておりますので、可能な限り早い段階でそういう資料を出していただいて検討に付していただければと思います。よろしくお願いたします。

【野川部会長】 それでは、そのような方向でよろしくお願いたします。

ほかにかがででしょうか。平岡委員。

【平岡臨時委員】 私のほうから、ジェットフォイルの安全対策と、鯨類との衝突事故ということで、この問題については第60回の船員部会のほうで質問をさせていただきました。今年に入り、釜山－博多間、それと東京伊豆七島に就航するジェットフォイルの鯨類との衝突事故が発生しましたが、乗組員の適切な対応により、大惨事には至らなかった。前回質問をさせていただいたときに、アクティブソナー、それとアンダーウォータースピーカーということで、その有効な機器の開発は現状ではどうなっているのか報告をしてもらいました。そこでの海事局のほうからは、事業者、関係者の意見を聞き、安全の問題であり、これについてフォローアップしていかなければならないと。それと機器の開発に対する国の支援とか、その辺については引き続き検討していく必要があるだろうという回答がありました。その後どのような対応また検討を行っているのかわかれば、その辺のところお聞きしたいと思っております。

【野川部会長】 というご質問ですが、いかがでしょうか。

【高杉船員政策課長】 申しわけございません。直接担当になるセクションの者がきょう出席しておりませんし、今いただきましたご質問について、担当のほうに持ち帰って改めてご回答できるように検討したいと思います。

【野川部会長】 それではそういうことでよろしく願いいたします。ほかにかがででしょうか。よろしいでしょうか。

よろしければ事務局にお返しいたします。

【成瀬専門官】 次回の部会の開催日程につきましては、部会長にお諮りした上で改めてご連絡をさせていただきます。事務局からは以上でございます。

【野川部会長】 それでは、以上もちまして、交通政策審議会海事分科会第78回船員部会を閉会いたします。本日はお忙しいところ、委員及び臨時委員の皆様にはご出席をいただきましてありがとうございました。

— 了 —